

▶昭和48年春季大会見学会

昭和48年5月25日(金)つぎの6班にわかれ見学会を開催

- ①日産自動車(株)栃木工場
- ②日産ディーゼル工業(株)上尾工場
- ③(財)日本自動車研究所
- ④鈴木自動車工業(株)磐田工場、ヤマハ発動機(株)本社工場
- ⑤トヨタ自動車工業(株)上郷工場、高岡工場
- ⑥日本電装(株)西尾製作所

▶昭和48年春季学術講演会

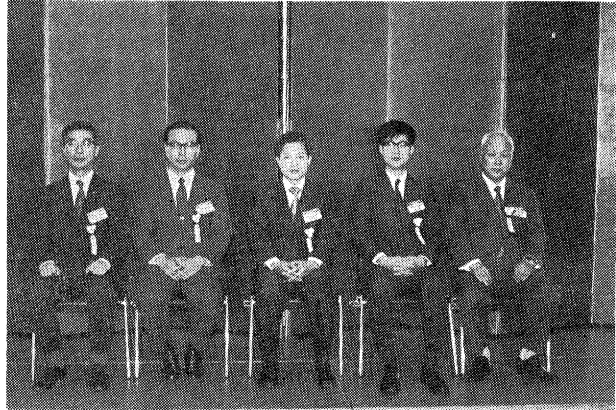
昭和48年5月23日(水)、24日(木)の両日東条会館において36の講演(別表)が発表された。

▶第27回通常総会

昭和48年5月31日(月)9:30~10:15
全共連ビル4階大会議室において開催。

- 出席会員: 92名
- 委任状提出会員: 2,386名
- (昭和48年3月31日現在正会員数 11,157名)

議 事: 事務局より出席会員ならびに委任状提出会員数を報告, 中川会長を議長に推し, 議長より定款第18条の定める



第23回自動車技術会賞受賞者諸君(左から学術賞の酒井靖郎, 宮崎弘昭, 堤 三郎, 向井恒三郎, 技術賞の大野愛二の諸君)

ところにより本通常総会成立の旨を告げ議案の審議に移った。

第1号議案: 昭和47年度事業報告の件
本案, 志熊担当理事より配布資料にもとづき事業報告が行なわれ, 異議なく確認された。

第2号議案: 昭和47年度決算報告の件

本案, 田中担当理事より配布資料にもとづき決算報告が行なわれ, 引続き荘村監事より決算の監査結果は適正である旨の報告が行なわれ, 異議なく確認された。

第3号議案: 昭和48年度事業計画の件
本案, 藤田担当理事より配布資料にもとづき説明が行なわれ異議なく確認され

昭和48年春季学術講演会・講演発表題目

731 前刷集 B5判/348 ページ/会員頒布価 1,800 円(送料込)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 生田・古浜・引野(武蔵工大)高速ディーゼル機関のピストンリングの温度 ② 浅川(日大)ラジエータの性能改善の新様式・静電場応用による性能改善 ③ 中川・吉崎(トヨタ自工)ディーゼルエンジン過渡エミッション推定の一手法 ④ R.Kamo (Cummins) PT 燃料噴射システムによるディーゼルエンジンの排気ガス特性 ⑤ 山根・古浜(武蔵工大)水素エンジンの燃焼特性・統報 ⑥ 斎藤・高橋(早大)メタノール混合燃料による排気組成 ⑦ 広安・角田・坂根(広島大)均一混合気の燃焼室形状および乱れを取入れた燃焼シミュレーション ⑧ 榎戸・林(JARI)排気浄化触媒コンバータ性能試験法の研究・第7報: テストピースによるモノリシック触媒のHC酸化性能評価 ⑨ 加地(JARI)スモッグ大気成分と自動車排気ガスの光化学反応生成物の比較 ⑩ 木村・加地・中野(IARI)東京圏における大気汚染の調査研究 ⑪ 石田・水口(トヨタ車体)ボディ設計への最適化手法の適用 ⑫ 白沢・大久保・赤松(東洋工業)閉じたハット型断面部材の平均圧縮荷重について ⑬ 児島・榎谷・滝沢(富士重工)乗員を含めた車体構造の衝突解析 ⑭ 綾・高橋(日産)衝突時の車体エネルギー吸収特性 ⑮ 藤井・古庄(ダイハツ)衝突時の傷害評価に関する一提案 ⑯ 尾喜(日本発条)吸い込み式エアバッグの款式によるモデル化 ⑰ 清都・速森・福森(日産)近藤(三菱電機)エアバッグ用至近測距レーダセンサ ⑱ 横倉(日産)シートトリムの感触について・官能特性と物理特性の対応づけ ⑲ 金谷・酒井・岡山(JARI)タイヤの制動特性におよぼすサイド | <ul style="list-style-type: none"> ロブレーニングの影響について・第1報 ⑳ 荒木・酒井・小笠原(JARI)タイヤの限界特性(大キャンパ角・大スリップ角時のコーナリング特性)について・第1報 ㉑ 山下・土居(住友ゴム)乾燥路面におけるゴム配合とスキッドレジスタンス ㉒ 西谷・高波・倉林(いすゞ)ブレーキ温度のシミュレーションに関する一考察 青木(JARI)連結車両の安定性操縦性の研究・その1: 乗用車・トレーラ連結車両の安定性操縦性について・第2報 ㉔ 本田・近森(三菱自工)セミトレーラ(乗用車)の操縦性安定試験法に関する一考察 ㉕ 伊丹・織田(三菱自工)セミトレーラ制動時安定性解析 ㉖ 東・齋藤・森(東京農工大)セミトレーラのジャックナイフイング防止法について ㉗ 山川・角野・郷(いすゞ)路面凹凸の表示法について ㉘ 岩元(JARI)統計的解析法による自動車の振動特性の決定に関する理論 ㉙ 武藤(JARI)乗用車(セダン), バン, バスタイプの模型自動車(1/10スケール)を用いての横風特性の研究 ㉚ 井上・岩元(JARI)西山・亙理(東大生研)ESV試験法と感度解析 ㉛ 浅野・神・岩元(JARI)定置車両の音源パワーについて ㉜ 神・浅野・岩元・井上(JARI)定置車両の騒音に関する二, 三の考察 ㉝ 山之内(東洋工業)井口(東大)松井・滝口・大野・金子(東洋工業)CVS乗用車両の設計概要について ㉞ 吉沢・川口(日産)クラッチサイズ決定法に関する一考察 ㉟ 小林(豊田中研)油圧式全域無段変速機 ㊱ 野村・中村(日野自工)歯車における歯元応力測定とその応用例 |
|--|--|



た。

第4号議案：昭和48年度予算に関する件

本案，森田担当理事より配布資料にもとづき予算案の説明が行なわれ，異議なく確認された。

▶第23回自動車技術会賞授賞式

昭和48年5月21日（月）10：25～10：50全共連ビル4階大会議室において開催。

中川会長のあいさつにつづき近藤政市審査委員長より審査経過報告が行なわれ学術賞1件4名，技術賞1件1名が中川会長より表彰状ならびに記念品が贈られた。

<学術賞>

燃焼解析による排気に関する研究

- 酒井靖郎君（日産・中央研究所）
- 宮崎弘昭君（〃）
- 堤 三郎君（〃）
- 向井恒三郎君（〃）

（受賞の理由）

エンジンの諸元，運転条件と排気の関係を基礎的かつ系統的に研究しこれらの排気におよぼす影響を明確にすることができた。このことは今後の排気改善に有力な基礎となるもので，その意義はきわめて大である。

（主な業績）

- ①エンジン主要諸元が排気ガス濃度におよぼす影響，自動車技術会論文集 No. 1, 1970.
 - ②単シリンダエンジンによる燃焼解析，自動車技術会論文集 No. 3, 1971.
 - ③燃焼室形状がNOにおよぼす影響，昭和47年5月23日自動車技術会学術講演会において発表。
 - ④機関主要諸元がNOに及ぼす影響，日産技報 No. 7, 1972.
 - ⑤Experimental Analysis about the Effect of Engine Design Factors on Exhaust Emissions, FISITA 14回(1972年6月ロンドン).
 - ⑥The Effect of Combustion Chamber Shape on NOx, SAE Paper 730154 (1973年1月).
- （略歴）

昭和48年秋季大会・日程

期間：昭和48年10月24日（水）～26日（金）

会場：名古屋商工会議所ビル

月 日	時 間	行 事	会 場
10月24日（水）	9：30～16：20	学術講演	第1会場
	16：20～17：50	特別講演*	〃
	9：30～16：10	学術講演	第2会場
	18：00～20：00	懇親会	〃
10月25日（木）	13：30～16：50	学術講演	第1会場
	9：00～12：40	特別講演**	第2会場
	13：30～17：20	学術講演	〃
	17：30～19：00	研究懇談会 工場見学	名商グリル （8班）
10月26日（金）			

* 講演者：Mr. J.C.Ellis (SAE 会長)

題 目：Gasolines for Low-emmission Vehicles (SAE Paper 730616)
この特別講演会の前刷集：お申込みの方 500円（当日売 600円）

** ESV 関係の講演7件

酒井靖郎君：昭和4年4月30日生れ，昭和28年東大工学部応用物理学科卒，日産自動車（株）入社。
宮崎弘昭君：昭和9年9月12日生れ，昭和32年群馬大学工学部機械工学科卒，昭和32年三共電機，昭和34年日産自動車（株）入社。
堤 三郎君：昭和16年6月24日生れ，昭和42年東北大学工学部機械工学科卒（修士），日産自動車（株）入社。

向井恒三郎君：昭和20年2月2日生れ，昭和42年東大工学部航空工学科卒，日産自動車（株）入社。

<技術賞>

自動車に関する標準化活動を通じての技術の進歩，向上に寄与した実績。
大野愛二君（日産自動車・第1設計管理部）大正3年7月10日生れ。
（授賞の理由）
長年にわたり社内外の標準化業務に関与して，数多くの標準類の制定あるいは標準化思想の普及に貢献し，自動車技術の進歩向上に寄与した。

（主な業績）

- ①JASO規格部会主査として8部会を担当，制定規格13.
- ②日本工業標準調査会専門委員会委員制定規格82.
- ③JASO規格委員会副主査（昭和46年より）

- ④JASO国際規格委員会委員（昭和40年より）
- ⑤JASO規格委員会委員
- ⑥JASO長期計画専門委員会主査（昭和45～47年）
- ⑦日産自動車技術標準化委員会幹事（昭和35年より）

⑧日本ばね工業会委員，日本ねじ研究委員ほか
（略歴）

昭和13年4月海軍兵学校，昭和20年9月東大第1学部機械工学科卒，21年1月日産自動車（株）入社，昭和36年設計部管理課長代理，昭和42年設計管理部標準課長

▶第2回自動車の構造強度解析シンポジウム

企画 構造強度部門委員会
日時 昭和48年11月13日（火）9：00～16：30
会場 全国労音会館
（東京都千代田区西神田3-9-10）

内容

- ①使用者側からみた Nastran の評価 Mr. Nagy (Ford Motor Co.)
- ②自動車設計における有限要素法 Mr. Kathawalo (Engineering Mechanics Research Corp.)
- ③その他日本人講師多数

自動車技術会 編集

自動車技術

昭和48年8月25日 印刷
昭和48年9月1日 発行

Vol. 27, No. 9, 1973.

定価 1,000円（〒32円）

発行所 社団法人自動車技術会
東京都港区高輪1丁目16番15号
（郵便番号108）電話 東京 (03) 447-1681 (代)
振替口座 東京 196, 725番

編集 発行人 北村正雄
印刷所 明善印刷株式会社